

テーマ：映像メディアの構造を理解し分析する

教員名：今村庸一

この学習計画モデルの特徴

テレビや映画、インターネット等から発信される映像には、どのような特質や背景があるのか。また、映像作品の内容や、番組やコンテンツなどを制作する立場の人や組織は、どういう構造になっているのか。メディアを取り巻く環境が大きく変化している近年の状況で、このような課題を、多角的に学習し、情報化社会における映像メディアの構造を理解し分析できるような科目が履修できるようにしてあります。

想定される進路

テレビ番組やCMなど、映像・音響系の制作者を目指そうという学生にとっては、就職してから即戦力となれるような能力を身につけておくことが望まれます。この分野は競争も激しく、第一線のプロになるのは、なかなか大変なことです。それでも専門分化している業界へ、少しでも有能な人材を送り出したいと考えています。また、こうしたメディア全般の知識や経験を得ることによって、一般企業に進む場合でも大きなメリットがあります。今後は、どんな世界でも、情報発信力が求められますが、メディアの社会性を知り、コンテンツ制作の知識をもつことによって、様々な分野の広報やプロモーションで力を発揮することができます。将来の進路や応用範囲は、極めて広く多様だといえるでしょう。

効果的に学習を行うためのアドバイス

【1年次】

目標：メディアと情報の基礎知識を学び、その歴史や社会性を考える。

まず、映像メディアや情報を勉強していくに当って、広い意味からこの分野の体系を把握しておくことが必要です。教養基礎科目では、「人間と文化」から「文化人類学」「芸術学」「文学」など、また「社会と生活」から「政治学」「社会学」「歴史学」などを履修します。また専攻基礎科目から「マスメディア概論」「メディアリテラシー」、実習系科目では「映像制作実習」「デジタルフォト実習」「音響制作実習」などを学んでおきましょう。それからキャリア教育科目では「キャリア基礎」、地域科目では「インターンシップⅡ」「まちづくり実践」「飯能学」なども積極的に履修しましょう。

【2年次】

目標：メディアと情報の背景を学び、実務と学問の体系を理解する。

2年次になると、より深い意味から映像や音響の背景について学びます。抽象的な学問概念と、専門分野の作品などが、どのように結びついているのか、その文化的背景を知るためには、教養発展科目から「映像文化論」「アニメーション文化論」「現代社会とメディア」などを履修します。

また専攻基幹科目とコース基幹科目、モジュール科目からは、「音響メディア論」「メディア・アート論」「情報メディア倫理」「取材論」「テレビ放送論」「CM制作論」「アニメーション制作論」などを履修しましょう。

それから2年次の「プレゼミナールⅢ」「プレゼミナールⅣ」では、3・4年次の専門ゼミを見据えて、自分が卒業までに何を学びたいのか、その計画を立てて履修してください。プレゼミナールⅢ・Ⅳの教員が担当している講義科目なども合わせて受講してください。

またキャリア教育科目の「キャリア発展」「ライフプランニング」、地域科目の「インターンシップⅡ」「まちづくり実践」「地域と社会」など、関心のある科目を履修しましょう。

【3年次】

目標：メディアと情報の専門的知識を学び、職業や社会との関係について学習する。

3年次は、各々の分野に基づいた専門的知識を習得するとともに、将来の自分の進路を考えた学習計画を立てる必要があります。そのためには、まず3・4年次を通じたゼミナールを選び、「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」を履修します。このゼミナールの指導教員のもとで卒業までの目標を各自定めてください。

3年次からは、専攻科目が設けてありますが、学部科目の「論文執筆法」は必ず履修するようにしてください。4年次に作成するゼミ論の基本を学びます。また履修に当たっては、将来の進路と卒業までの学習計画に基づいて選択するように心がけてください。映像・音響メディア分野でいえば、分野科目の「映像メディア論」「製作マネジメント」など、モジュール科目の「ジャーナリズム論」「マスメディア制度論」「映像作品研究」「映像演出論」「映像ストーリー論」「CM製作研究」などを履修してください。

キャリア教育科目の「キャリア実践」や、地域科目の「インターンシップⅡ」「まちづくり実践」などを履修することで就職活動などに役立ててください。

【4年次】

目標：メディアと情報の専門的知識を学び、自分の研究テーマを総括する。

4年次では「ゼミナールⅢ」「ゼミナールⅣ」で、さらに専門的な学習を進めていきます。大学で勉強してきたことと、実社会の状況を比較しながら、メディアの理論と現実を考え、総括することが目標となります。そのために就職活動も有意義な学習の場となるはずです。

専攻科目の中から、映像・音響メディア分野以外の科目で、関心のある分野の講義を履修するのも意味のあることです。「サウンドデザイン論」「アニメーション作画応用」「クロスメディア論」「ネットワーク構築論」「アーカイブズ学」など、モジュール科目を複合的に選んで履修するとよいでしょう。

また4年次には、ゼミナールの中でゼミ論を提出することが必須となっています。3・4年次のゼミナールの内容に加えて、大学生活4年間で学んだことを総括する意味でも、ゼミ論はしっかり書いてください。そのためにも、各学年で自分の研究テーマに即した授業を選び、履修することが必要です。

【その他】

学習計画は、4年間、自分が大学で何を学びたいのか。また、卒業後にどのような職業に就きたいのか。具体的な目標が定まっていないと、有効な計画を立てることはできません。

しかし、目標さえ明確になっていれば、大学には豊富な講義やゼミが用意されています。さらに有意義な学習効果を挙げるためには、大学の授業だけでなく、日頃から関心分野への興味と探究心が必要です。自分の志望と資質をよく考えて、実りある大学生活を送るために、しっかりとした学習計画を立ててください。

履修モデルの見方(※:必修、◎:必須、○:履修を強く勧める、△:余裕があれば履修することが望ましい)

テーマ:		映像メディアの構造を理解し分析する									
教員名:		今村庸一									
科目群	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件		
基礎科目群	メディアと情報資源	2単位	※	プレゼミナールⅢ	2単位	※				必修12単位	
	プレゼミナールⅠ	2単位	※	プレゼミナールⅣ	2単位	※					
	プレゼミナールⅡ	2単位	※								
	コンピュータ・リテラシーⅠ	1単位	※								
キャリア教育科目群	キャリア基礎Ⅰ	2単位	※	キャリア発展	2単位	△	キャリア実践Ⅰ	2単位	※	必修4単位を含む6単位以上	
	キャリア基礎Ⅱ	2単位	○	ライフプランニング	2単位	△	キャリア実践Ⅱ	2単位	△		
地域科目群	地域と文学	2単位	△	地域と文学	2単位	△	インターンシップⅡ	2単位	△	6単位以上	
	飯能学	2単位	△	飯能学	2単位	△	インターンシップⅠ	4単位	△		
	地域社会と観光	2単位	△	地域社会と観光	2単位	△	まちづくり実践	2単位	△		
	地域環境論	2単位	△	地域環境論	2単位	△	まちづくり実践	2単位	△		
	森林文化Ⅰ	2単位	△	森林文化Ⅰ	2単位	△	ボランティア実習	1単位	△		
	森林文化Ⅱ	2単位	△	森林文化Ⅱ	2単位	△	ボランティア実習	1単位	△		
	地域社会と経済	2単位	△	地域社会と経済	2単位	△	外国大学科目	2単位	△		
	地域社会と環境	2単位	△	地域社会と環境	2単位	△	外国大学科目	2単位	△		
	地域と金融	2単位	△	地域と金融	2単位	△	外国大学科目	2単位	△		
	地域産業論	2単位	△	地域産業論	2単位	△	外国大学科目	2単位	△		
	地域企業論	2単位	△	地域企業論	2単位	△	外国大学科目	2単位	△		
	地域とスポーツ	2単位	△	地域とスポーツ	2単位	△	外国大学科目	2単位	△		
	地域と社会	2単位	△	地域と社会	2単位	△	外国大学科目	2単位	△		
	地域と歴史	2単位	△	地域と歴史	2単位	△	外国大学科目	2単位	△		
地域と政治	2単位	△	地域と政治	2単位	△	外国大学科目	2単位	△			
人間と文化	哲学Ⅰ	2単位	○	哲学Ⅰ	2単位	○				必修2単位を含む6単位以上	
	哲学Ⅱ	2単位	○	哲学Ⅱ	2単位	○					
	倫理学Ⅰ	2単位	○	倫理学Ⅰ	2単位	○					
	倫理学Ⅱ	2単位	○	倫理学Ⅱ	2単位	○					
	言語学	2単位	○	言語学	2単位	○					
	芸術学	2単位	○	芸術学	2単位	○					
	文学Ⅰ	2単位	○	文学Ⅰ	2単位	○					
	文学Ⅱ	2単位	○	文学Ⅱ	2単位	○					
	文化人類学Ⅰ	2単位	○	文化人類学Ⅰ	2単位	○					
	文化人類学Ⅱ	2単位	○	文化人類学Ⅱ	2単位	○					
	こころの科学Ⅰ	2単位	○	こころの科学Ⅰ	2単位	○					
	こころの科学Ⅱ	2単位	○	こころの科学Ⅱ	2単位	○					
	北欧文化論	2単位	○	北欧文化論	2単位	○					
	ドイツ語と文化	2単位	○	ドイツ語と文化	2単位	○					
	フランス語と文化	2単位	○	フランス語と文化	2単位	○					
	スペイン語と文化	2単位	○	スペイン語と文化	2単位	○					
	中国語と文化	2単位	○	中国語と文化	2単位	○					
	韓国語と文化	2単位	○	韓国語と文化	2単位	○					
	日本語教育入門	2単位	○	日本語教育入門	2単位	○					
	健康・スポーツ実習Ⅰ	1単位	※								
健康・スポーツ実習Ⅱ	1単位	※									
社会と生活	法学Ⅰ	2単位	○	法学Ⅰ	2単位	○					
	法学Ⅱ	2単位	○	法学Ⅱ	2単位	○					
	政治学	2単位	△	政治学	2単位	△					
	経済学Ⅰ	2単位	△	経済学Ⅰ	2単位	△					
	経済学Ⅱ	2単位	△	経済学Ⅱ	2単位	△					
	社会学Ⅰ	2単位	△	社会学Ⅰ	2単位	△					
	社会学Ⅱ	2単位	△	社会学Ⅱ	2単位	△					
	歴史学Ⅰ	2単位	△	歴史学Ⅰ	2単位	△					
	歴史学Ⅱ	2単位	△	歴史学Ⅱ	2単位	△					
	観光学	2単位	△	観光学	2単位	△					
環境と人間	現代自然科学Ⅰ	2単位	○	現代自然科学Ⅰ	2単位	○					
	現代自然科学Ⅱ	2単位	○	現代自然科学Ⅱ	2単位	○					
	地球科学	2単位	△	地球科学	2単位	△					
	環境生物学Ⅰ	2単位	○	環境生物学Ⅰ	2単位	○					
	環境生物学Ⅱ	2単位	○	環境生物学Ⅱ	2単位	○					
	生命の科学Ⅰ	2単位	○	生命の科学Ⅰ	2単位	○					
生命の科学Ⅱ	2単位	○	生命の科学Ⅱ	2単位	○						
からだの科学Ⅰ	2単位	○	からだの科学Ⅰ	2単位	○						
からだの科学Ⅱ	2単位	○	からだの科学Ⅱ	2単位	○						
教養発展科目				外国大学科目	2単位		外国大学科目	2単位		8単位以上	
				比較文明論	2単位		比較文明論	2単位			
				日本伝統文化論	2単位		日本伝統文化論	2単位			
				現代思想	2単位		現代思想	2単位			
				現代人と宗教Ⅰ	2単位		現代人と宗教Ⅰ	2単位			
				現代人と宗教Ⅱ	2単位		現代人と宗教Ⅱ	2単位			
				現代と文学	2単位		現代と文学	2単位			
				コミュニケーション論	2単位		コミュニケーション論	2単位			
				インターネット文化論	2単位		インターネット文化論	2単位			
				映像文化論	2単位	◎	映像文化論	2単位	◎		
				アニメーション文化論	2単位	◎	アニメーション文化論	2単位	◎		
				子ども文化論	2単位		子ども文化論	2単位			
				多文化共生論	2単位		多文化共生論	2単位			
				現代人と心理Ⅰ	2単位		現代人と心理Ⅰ	2単位			
				現代人と心理Ⅱ	2単位		現代人と心理Ⅱ	2単位			
				世界遺産論	2単位		世界遺産論	2単位			
				現代社会と法	2単位		現代社会と法	2単位			
				国際社会と政治	2単位		国際社会と政治	2単位			
				アジア社会論	2単位		アジア社会論	2単位			
				ライフサイクルと社会保障	2単位		ライフサイクルと社会保障	2単位			
				労働と社会	2単位		労働と社会	2単位			
				ジェンダー論	2単位		ジェンダー論	2単位			
				社会福祉論Ⅰ	2単位		社会福祉論Ⅰ	2単位			
				社会福祉論Ⅱ	2単位		社会福祉論Ⅱ	2単位			

テーマ: 映像メディアの構造を理解し分析する						
教員名: 今村庸一						
科目群		1年次	2年次	3年次	4年次	卒業要件
情報処理・資格	情報処理・資格		記録管理論 2単位			
			システムプログラミング実習 1単位			
			記録情報実習 1単位			
博物館・アーカイブズ	博物館・アーカイブズ		プログラミング演習 2単位			
			博物館資料論 2単位			
			博物館経営論 2単位			
			博物館展示論 2単位			
図書館・司書	図書館・司書		博物館教育論 2単位			
			児童サービス論 2単位			
			情報資源組織論 2単位			
			情報サービス論 2単位			
学部科目	学部科目		図書館情報技術論 2単位			
分野科目	映像・音響メディア分野		デジタル・アーカイブズ論 2単位	デジタル・アーカイブズ論 2単位		必修10単位を含む 専攻基幹科目・専攻発展科目 54単位以上
			論文執筆法 2単位	論文執筆法 2単位		
			オンキャンパス・インターンシップ 2単位	オンキャンパス・インターンシップ 2単位		
			ゼミナールⅠ 2単位	発展研究 2単位		
			ゼミナールⅡ 2単位			
				ゼミナールⅢ 2単位		
				ゼミナールⅣ 2単位		
			映像メディア論 2単位	映像メディア論 2単位		
			制作マネジメント 2単位	制作マネジメント 2単位		
			メタデータ概論 2単位	メタデータ概論 2単位		
分野科目	デジタルデザイン分野		オンラインメディア管理論 2単位	オンラインメディア管理論 2単位		ただし、専攻発展科目から30単位以上
			ポストプロダクション演習 2単位	ポストプロダクション演習 2単位		
			分野演習Ⅰ 2単位			
			分野演習Ⅱ 2単位			
			メディアデザイン論 2単位	メディアデザイン論 2単位		
			データベース設計論 2単位	データベース設計論 2単位		
			ウェブ制作論 2単位	ウェブ制作論 2単位		
			コンピュータグラフィックス実習 2単位	コンピュータグラフィックス実習 2単位		
			分野演習Ⅰ 2単位			
			分野演習Ⅱ 2単位			
分野科目	図書館・アーカイブズ分野		データベース設計論 2単位	データベース設計論 2単位		
			映像メディア論 2単位	映像メディア論 2単位		
			ネットワーク構築論 2単位	ネットワーク構築論 2単位		
			情報サービス演習Ⅰ(基礎) 2単位	情報サービス演習Ⅰ(基礎) 2単位		
			情報サービス演習Ⅱ(発展) 2単位	情報サービス演習Ⅱ(発展) 2単位		
			分野演習Ⅰ 2単位			
			分野演習Ⅱ 2単位			
			ソーシャルメディア論 2単位	ソーシャルメディア論 2単位		
			マスメディア制度論 2単位	マスメディア制度論 2単位		
			ジャーナリズム論 2単位	ジャーナリズム論 2単位		
分野科目	マスコミ		映像メディア論 2単位	映像メディア論 2単位		
			クロスメディア論 2単位	クロスメディア論 2単位		
			映像作品研究 2単位	映像作品研究 2単位		
			映像演出論 2単位	映像演出論 2単位		
			映像ストーリー論 2単位	映像ストーリー論 2単位		
			CM制作研究 2単位	CM制作研究 2単位		
			サウンドデザイン演習 2単位	サウンドデザイン演習 2単位		
			デジタルコンテンツ制作演習 2単位	デジタルコンテンツ制作演習 2単位		
			プリプロダクション演習 2単位	プリプロダクション演習 2単位		
			アニメーション作画応用 2単位	アニメーション作画応用 2単位		
分野科目	アニメーション		アニメーション制作演習 2単位	アニメーション制作演習 2単位		
			プレ・ビジュアルライゼーション研究 2単位	プレ・ビジュアルライゼーション研究 2単位		
			ポスト・ビジュアルライゼーション研究 2単位	ポスト・ビジュアルライゼーション研究 2単位		
			アニメーション作品・作家研究Ⅰ 2単位	アニメーション作品・作家研究Ⅰ 2単位		
			アニメーション作品・作家研究Ⅱ 2単位	アニメーション作品・作家研究Ⅱ 2単位		
			アニメーション制作演習 2単位	アニメーション制作演習 2単位		
			メタデータ概論 2単位	メタデータ概論 2単位		
			映像メディア論 2単位	映像メディア論 2単位		
			クロスメディア論 2単位	クロスメディア論 2単位		
			グラフィックデザイン演習 2単位	グラフィックデザイン演習 2単位		
分野科目	デザイナー・ディレクター		ウェブ制作演習 2単位	ウェブ制作演習 2単位		
			アニメーション制作演習 2単位	アニメーション制作演習 2単位		
			ネットワーク構築論 2単位	ネットワーク構築論 2単位		
			アーカイブズ学 2単位	アーカイブズ学 2単位		
			電子文書と記録管理 2単位	電子文書と記録管理 2単位		
			公文書管理論 2単位	公文書管理論 2単位		
			ネットワークプログラミング実習 1単位	ネットワークプログラミング実習 1単位		
			記録情報演習 2単位	記録情報演習 2単位		
			アーカイブズ学 2単位	アーカイブズ学 2単位		
			博物館情報・メディア論 2単位	博物館情報・メディア論 2単位		
分野科目	博物館・アーカイブズ		歴史資料論 2単位	歴史資料論 2単位		
			博物館資料保存論 2単位	博物館資料保存論 2単位		
				博物館実習Ⅰ 2単位		
				博物館実習Ⅱ 2単位		
			図書館制度・経営論 2単位	図書館制度・経営論 2単位		
			情報資源組織演習Ⅰ 2単位	情報資源組織演習Ⅰ 2単位		
			情報資源組織演習Ⅱ 2単位	情報資源組織演習Ⅱ 2単位		
			図書館総合演習 2単位	図書館総合演習 2単位		
自由選択単位		各科目群の卒業要件単位数を超える修得単位				8単位
合計						124単位

①外国語科目のすべての演習科目は、一度履修した後、再度履修することが可能であり、同一年度に複数履修することも可能です。

②「まちづくり実践」および「インターンシップⅡ」「CM制作研究」「オンキャンパス・ワークショップ」「オンキャンパス・インターンシップ」は、一度履修した後、再度履修することが可能であり、同一年度に複数履修することも可能です。ただし、それぞれ2度までしか卒業要件単位に含むことができません。

③「森林文化実習」「ボランティア実践」および「インターンシップⅠ」は、一度履修した後、再度履修することが可能です。ただし、それぞれ2度までしか卒業要件単位に含むこ